

木原せいじ

活動報告書

せいじ便り 32号



揺るぎなき挑戦!!

総選挙も終わりました。お陰様で、全力で戦わせていただくことができました。9月16日には鳩山新総理、民主党政権が誕生します。新しい時代の幕開け、新政権には、以下の点を期待したいと思います。

予算編成の抜本改革を

- ① 財務省の事前査定は廃止し、各省大臣に自由度を
- ② 財務省による事後チェック体制の強化を
- ③ 複数年度予算の導入を

民主党は、国家戦略局を新設し、予算の骨格や重要方針を決定することです。また、閣僚委員会で省庁間の利害を調整すること。いずれも、政治主導が確立している英国の仕組みを参考にしています。

英国大蔵省に二年間出向し、英国での政治主導の予算編成・政策決定過程をつぶさに学び、紹介してきた私としては、民主党の取り組みに期待しています。

特に、国家戦略局については、**主要経費毎の、また各省庁毎の予算の配分について、役所の力を借りずに決定する仕組みに**してもらいたいと思います。

そして、その先にも手をつけてもらいたい。英国での政治主導・予算編成の肝は、各省毎の配分を大まかに決定した後、その枠内で、**各省が自由に細かい割付けを決定すること**です。

逆に、せつかく各省毎の予算の枠をトップダウンで決めたのに、その枠内の配分について**財務省の査定が入ると、何にも変わりません。**

そこで、**財務省の解体と事後チェック型予算への転換、複数年度予算の導入が必要**になります。

日本の予算制度の問題は、財務省の厳しすぎる事前査定と事後チェック機能の不在、そして無駄を生み出す単年度主義ですから、是非ここに手をつけてもらいたい。そのことによつて、「いくら予算を獲得するか、使うか」から、「如何に効率よく使ったか、どのような**成果が挙げたか**」を競う、役人の意識改革を図っていただきたいと思えます。

政官関係の見直しを

- ① 新たに政府に入る約30人の政治家の役割を明確に
- ② 政治家と官僚の接触禁止を

議員内閣制の下での、政治主導とは、民意で選ばれた政権の大臣のために、役人が忠誠を尽くすことです。これも、実現してもらいたいと思います。

そのための一つの手法としての**予算編成の改革は、既述のとおり**です。

加えて、民主党は、政治家を約1000人政府に入れるとのこと。しかし、既に現在の体制でも、政治家が約70人政府に入っています。**30人増えたからといって、政治主導が確立することにはなりません。**

英国大蔵省での経験からいうと、100

■木原せいじ公式
モバイルサイト
<http://kiharaseiji.com/k/>



携帯電話から木原せいじモバイルにつながります。木原せいじの日々の活動をブログにて公開中。

人なら100人政府に入った政治家の**役割分担、責任の明確化**が不可欠です。とりわけ、新たに入る30人の政治家の役割は何なのか、有給なのか無給なのか(ちなみに、英国は無給)、明らかにしておく必要があります。

それよりも何よりも、政治主導を確立する最大のものは、**政と官の接触制限**です。日本では、役人が政界を自由に飛び回って説明を繰り返して、与野党ともに役所の説明を受けてその是非を議論します。まさに、**役所の設定した土俵**の上で政治家が踊らされています。しかし、役人の本来の役割は、時の政治・民意によって選ばれた政権に忠実に尽くすことです。だからこそ、英国では、役人は自分の役所にいる政治家以外の政治家との接触は、**与野党を問わず厳格に禁止**されています。

既に、役所は、民主党の議員に一生懸命説明を繰り返しているようですが、**政官の接触制限**に向けて、前進してもらいたいと思います。

成長戦略を

高齢化のピークに向けて、成長戦略、景気回復策を具体的に!!

民主党は、自公政権の景気対策を凍結することです。政権が代わるのですから、止むを得ないことです。

しかし、我が国は、これから**高齢化のピーク**に入ります。成長なくして、社会保障はじめ様々な仕組みの持続性は維持できません。しかも、景気は今が正念場です。自

公政権の景気対策の代わりに、どのように景気を上向かせ、日本を成長軌道に乗せるか、早急に具体策を提示していただきたいと思えます。

●いざねに「い」も・・・

我が党は大敗を喫しました。比例復活できたのも重鎮が中心で、党の体質を変革すべき若手が軒並み討ち死にしました。

敗れた身で偉そうなことをいうのもなんですが、国会に戻った中堅・若手の同志議員の努力で、以下のことは実現してもらいたいと思えます。

私も、**捲土重来**を期して、努力していきたいと思えます。

① 役人の党本部への出入り禁止を!!

もう与党ではないのですから、役所との関係は、むしろ積極的に修正すべきです。そして、政策づくりは、**役人を頼らずに**。

② 党人事での中堅の大抜擢を!!

麻生総理は、今回の敗因をこれまでの積年の政策の結果とおっしゃっていますから、積年の政策づくりに関与していない中堅・若手を大抜擢するときです。

③ 自民党らしい政策の立案を!!

何でも税金でやってしまおうとの風潮もありますが、やはり、自立した個人の努力、**独立自尊の精神**を重んじ、足らざるところを共助で支え、それでも足りないところを公序、つまり税金で支えるという自民党らしさをもう一度示すときです。

木原せいじプロフィール



- ・年金・医療・介護、障害福祉、行財政改革、公務員制度改革、都市農政など幅広く活動を展開。

- ・1970年6月生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。
- ・平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。
- ・現在、浪人中。
- ・著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみたいと思われる方は是非ご連絡ください。



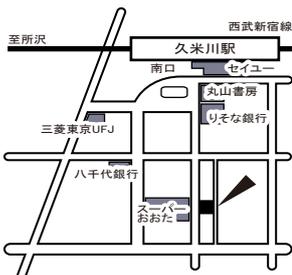
国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。



木原せいじ事務所

〒189-0013
東村山市栄町2-22-13
松岡ビル2階
TEL042-392-4105
FAX042-392-4106



For your smile